

第 5 回

島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

平成28年3月17日

議事録

平成 27 年度 第 5 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 議事録

会議体の名称	第 5 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局 (担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	平成 28 年 3 月 17 日 (木) 午後 1 : 00 ~ 2 : 30	
開催場所	島田市役所 4 階第 3 委員会室	
議題	1 開会 2 市長あいさつ 3 最近の労働市場の状況について～ハローワーク島田管内の状況～ 4 議事 (1) 総合戦略の実施状況について ・プレミアム金券事業の実施状況について ・地方創生先行型(基礎交付分・上乘せ交付分)事業の実施状況について (2) 平成 28 年度の取組予定について ・平成 28 年度 地方創生関連 当初予算(案)について (3) 「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」の継続について 5 閉会	
出席者	創生市民会議 構成員	1. 島田市自治会連合会 大石会長 2. 島田青年会議所 齋藤専務理事(代理出席) 3. お母さん業界新聞 静岡・島田版 杉本編集長 4. 島田市小中学校 P T A 連絡協議会 荒波会長 5. NPO クロスメディア島田 大石理事長 6. 島田商工会議所 原田会頭 7. 島田市商工会 大塚会長 8. 島田市観光協会 鳴嶋会長 9. 島田市農業経営振興会 富永副会長 10. 静岡県立島田高等学校 青木校長 11. 島田市校長会 内田校長 12. 島田信用金庫 飯塚常務理事 13. 島田・榛北地区労働者福祉協議会 片山会長 14. 島田公共職業安定所 中村所長 15. 島田市 染谷市長(副市長、教育長)
	オブザーバー	静岡県中部地域政策局 掛澤局長(欠席)
	司会	島田市市長戦略部 牛尾部長
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 森下課長
	傍聴	報道 市関係者 一般傍聴者

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ●第 5 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表 ●第 5 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員 ●平成 22 年と平成 27 年の国勢調査人口(速報値)、推計値 比較(資料 1) ●総務省 平成 27 年国勢調査「人口速報集計結果」の公表(資料 2) ●静岡県 平成 27 年国勢調査「静岡県の人口(速報値)」(資料 3)
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ●まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略（2015 改訂版）」の全体像（資料4） ●まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015 改訂版）全体像（資料5） ●プレミアム金券事業の実施状況について（資料6） ●地方創生先行型（基礎交付分・上乘せ交付分）事業の実施状況について（資料7） ●平成 28 年度 地方創生関連 当初予算（案）について（資料8） ●島田市産業支援センターの設置について（資料9） ●賑わい交流拠点整備事業について（資料10） ●ハローワーク島田管内の労働市場の状況（資料11）
--	--

【議事録】

1 開会

2 市長あいさつ

本日は御多用の中、第5回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。早いもので、この市民会議は、本日が5回目の開催となります。振り返りますと、昨年5月19日に第1回会議を開催し、その後、様々な検討を重ね、10月21日に島田市のまち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略を策定しました。策定後は、この「人口ビジョン」及び「総合戦略」を基にして、地方創生に向けた取組が本格的にスタートしたところです。

本年2月、平成27年国勢調査の人口速報集計結果が公表されました。これによると、島田市の人口は、98,136人と10万人を割る結果となりました。この結果は、推計人口をわずかに上回っておりますが、人口減少を実感するものでした。国も同様に、人口の減少幅が年々拡大し、さらには、東京一極集中傾向が加速化しているため、直近の状況を踏まえ、昨年12月12日に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂しました。『「戦略策定」から「事業推進」の段階へ』ということで、地方創生の深化に向けた施策の推進に向け、経済対策や一億総活躍社会の実現とTPPを踏まえた対応など、国が取り組む政策パッケージが強化されました。

島田市においても、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、平成28年度の当初予算編成を行い、地域経済対策として、産業支援センター運営事業や賑わい交流拠点整備事業を、子育て支援施策として、民間保育所建設助成事業や放課後児童クラブ整備事業による待機児童ゼロを目指した子育て環境の整備などに取り組んでいくこととしました。

本日の会議では、これらを含めた平成28年度の地方創生関連予算（案）や、既に取組を始めていた地方創生先行型事業の実施状況などについて、議論していただく予定となっております。

本日は、限られた時間ではございますが、皆様から忌憚のない御意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

3 出席者の確認

- ・島田青年会議所専務理事の町様の代理で齋藤様が出席
- ・静岡県中部地域政策局長の掛澤様が所用により欠席

4 最近の労働市場の状況について～ハローワーク島田管内の状況～

- ・**資料 11**により説明
- ・有効求人倍率は、公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの
- ・島田管内の有効求人倍率は、1.11（平成 28 年 1 月分）となっており、他地域と比較すれば低いが、島田の労働市場の規模を考慮すると上限近くまできている印象
- ・求人は、産業別で見ると製造業が多い。
- ・新規高卒者の有効求人倍率は、1.08 となっており、就職内定率 100%に近い。

○A構成員

有効求人倍率は、島田は思ったより低いのかと感じた。例えば、静岡市と島田市を比較した場合、島田の人は、静岡市に勤めたがり、静岡の人は、静岡市で勤めたがるので、それが反映されているのかと思った。

○B構成員

例えば、島田の事業所が、焼津の職安に求人を出すと、焼津の求人になる。そのことによって、島田の求人がいまひとつ上がらないということはあるのか。

○C構成員

確かに、焼津の職安に求人を出せば、焼津管内でのカウントとなる。しかし、島田に事業所がある方は、最寄りの島田で出してもらえれば、全国のどこにでも求人を出せる仕組みにはしている。有効求人倍率は、あくまでもハローワークで受付けた求人数ということ。

5 議事

(1) 総合戦略の実施状況について

○事務局

- ・前回会議 10 月 23 日からの 5 ヶ月間にあった大きな動きを 2 つ報告する。
- ・一つは、**資料 1、2、3**により、平成 27 年国勢調査の速報値について説明する。
- ・もう一つは、**資料 4、5**により、国の総合戦略の改訂について説明する。総合戦略については、策定の段階から、事業の推進の段階になった。
- ・資料 6 より、プレミアム金券事業の実施状況について説明する。
- ・金券利用総額（換金総額）は、566,926,000 円（換金率 99.7%）
- ・事業全体の効果額は、全体で 217,699,584 円。使用された金券 1 枚あたりでは、384 円と算出している。
- ・資料 7 により、市で平成 27 年度に地方創生の交付金を活用して実施した事業を説明する。

(2) 平成 28 年度の取組予定について

○事務局

- ・資料 8 により、平成 28 年度地方創生関連当初予算案について説明する。
- ・資料 9 により、島田市産業支援センターの設置について説明する。

- ・愛称を「おび（帯）サポ」とし、4月中に開所する。
- ・4者連携（島田市・島田商工会議所・島田市商工会・しましん）により起業・創業相談等の業務を実施し、産業の活性化を図る。
- ・資料10により、賑わい交流拠点整備事業について説明する。
- ・島田市、JA 大井川、大井川鉄道、中日本高速道路の4者連携により進めていく。

○D構成員

新東名金谷 IC 周辺の賑わい交流拠点整備のことで、教えて欲しい。この地域では、若い世代が勉強会を開いて、金谷の未来について議論・検討しているが、そういったグループと市の計画のすり合わせはできているのか？

○事務局

そのグループは、地元のコミュニティ委員会だと思われる。平成26年度に、「まちづくり構想」をまとめるために、ワーキング会議を開催している。その場において、地元の意見を十分反映できるようにしていたので、若い世代の意見も十分反映されていると認識している。

○市長

賑わい交流拠点整備事業については、地域の方々は、いろいろな思いがあると認識している。事業が具体的に進んでいく今後についても、地元の意見を頂戴しながら進めていく。

（3）「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」の継続について

○事務局

- ・1年間にわたり、当会議に御参画いただき、ありがとうございます。
- ・総合戦略の推進に当たっては、PDCAを強く求められており、それによる絶え間ない検証・改善を目指すことが必須となる。
- ・来年度においても、島田市の地方創生のエンジンとなっている皆様に、引き続き御協力を賜り、会議構成員としてご就任をお願いしたいと考えている。

○市長

・特段、ご異議がないようでしたら、ぜひ来年度においても御協力をお願いしたい。

（4）意見交換

○市長

3月15日に、島田市農業経営振興会主催で、農家のつどい「やっちゃえ農業」というものを開催したと聞いている。当会議メンバーも参加されたとのこと。情報共有の場としたいので、少し報告をお願いしたい。

○E 構成員

主な内容としては、講師をお招きし「小さな拠点づくり」の講演会を開催したが、今回、地方創生に関しては初心者の方も多かったため、勉強会という感じだった。各分野だけで集まって話しをしても、話が広がらないし、息詰まってしまう。今回のように、様々な分野の方が集まると、新たな発見があるし、仲間が増えていくので、「地方創生」は、連携・横のつながりで生まれるものだと感じた。講演会后、「おびさぼ」を利用したいという農業者の方も出てきたり、パネラーとして参加していただいたスーパーカネハチさんから、これからも農業者の方と一緒に連携していきたいと連絡をもらったりしている。

○F 構成員

極論を言うと「食べるもの」で私達は生きている。そう考えると、「食育」という視点で、富永さんの考えてらっしゃることに、ぜひ「お母さん達」を巻き込んで欲しい。「横のつながり」をお母さん達は持っている。

○市長

早速、「つながり」・「連携」が生まれ始めた様子が伺える。また今後もこのような催しがあると思うので、ぜひここに参加されるみなさんが参加してくれたり、関心を持っていただけたらありがたい。

○G 構成員

「やっちゃえ農業」もそうだが、今年は、連携をキーワードにしてきた。直近では、ハローワークさんとのハローワークさんの求人情報を、しましんの ATM コーナーに置く取り組みを始めた。これは、全国で初めてとのこと。やはり分野に関わらず、連携していけば、新しいことが始められるという実感がある

6 閉会